

トヨタ純正

チャイルドシート

取扱書



このたびはトヨタ純正チャイルドシートを
お買い上げいただき、ありがとうございました。



お子様の安全のためご使用前に必ず本書を読んでいただき、記載された
内容に従って正しくお使いください。

本書は紛失しないよう車の中に保管してください。

なお、本品を他のお客様にお譲りになるときは必ず本書も合わせて
お渡しください。

1	ご使用にあたって	- 2
2	ご使用上の注意	- 3
3	各部の名称	- 4
4	車両へ 取り付ける前に	- 5
5	車両への 取り付け方	- 6
	後ろ向き 取り付け	3点式 シートベルト - 6
		2点式 シートベルト - 8
	前向き 取り付け	3点式 シートベルト - 10
		2点式 シートベルト - 12
6	お子様の乗せ方	- 14
7	ベルト位置 (スライド式ヘッドレスト) の調整方法	- 15
8	リクライニング の調整方法	- 15
9	チャイルドシート のお手入れ	- 16

1 ご使用にあたって

安全にご使用いただくために、必ず次の条件をお守りください。

ご使用いただけるお子様

後ろ向き取り付け

体 重 — 7kg～10kg
身 長 — 75cm以下
参考年齢 — 生後6ヶ月～12ヶ月
そ の 他 — 首が安定し、ひとり座り
のできるお子様



前向き取り付け

体 重 — 9kg～18kg未満
身 長 — 105cm以下
参考年齢 — 1才～4才



●この条件を満たさないお子様には使用しないでください。

体重7kg未満のお子様にはベビーシート、体重18kg以上のお子様にはジュニアシートをご利用ください。

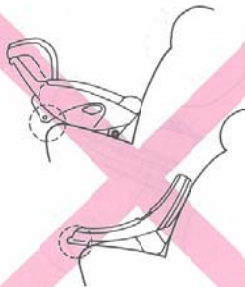
この様な座席には使用しないでください

●シートベルトの種類やシートの形状などにより、確実にチャイルドシートを固定できない場合は使用しないでください。
確実に固定できないと、衝突や急ブレーキの際にチャイルドシートが移動してケガをするおそれがあり危険です。

巻取り式2点式シートベルトの座席



チャイルドシートの座面の前後が車両シート座面に接しない場合又は安定しない座席



3点式シートベルトの上下取り付け部がともに巻取り式の座席



下部の取り付け部が巻取り式になっているもの

【参考】

一般的な3点式シートベルトでは、下部の取り付け部は固定されています。

オートマチックベルトの座席

前席に座ってドアを閉じると自動的にシートベルトが装着され、ドアを開けると自動的にはずれるシートベルト

○リヤセンター席

後ろ向き取り付けの場合チャイルドシートをフロントシートに当てられないので固定できません。

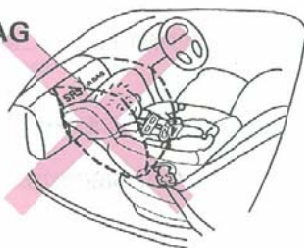
○シートベルトが無い座席

●SRSエアバッグが装備された座席には使用しないでください。

エアバッグの作動によりケガをするおそれがあり危険です。

(後ろ向き取り付けのとき)

SRS AIRBAG



2 ご使用上の注意

この取扱書では安全にご使用いただくため、特にお守りいただきたいことなどを次のマークで表示しています。



注 意……………注意事項を守らないと、事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するなどのおそれがあります。

【完了チェック】

…安全のため、最後に必ず確認していただきたいことを記載しています。

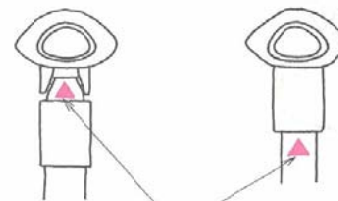


アドバイス……………より安全、快適にご使用いただくうえで知っておいていただきたいことを記載しています。



注 意

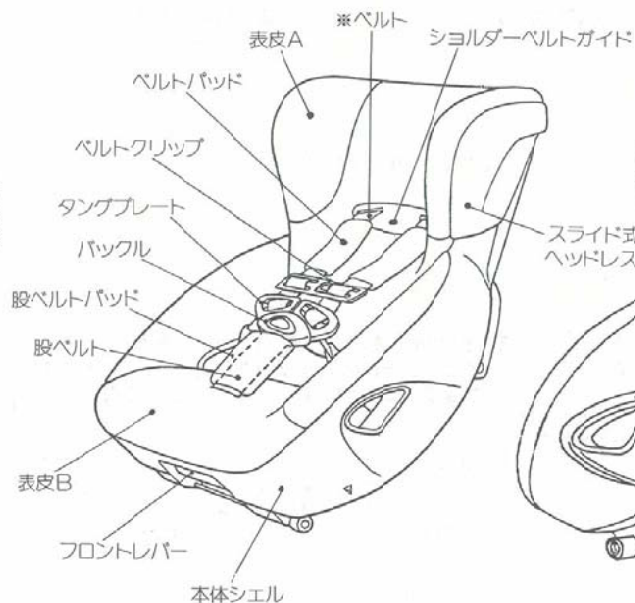
1. チャイルドシートにお子様を乗せないときでも、安全のために車両シートベルトで固定してください。
固定しないと衝突や急ブレーキの際にチャイルドシートが移動して、ケガをするおそれがあり危険です。
2. 事故などにより、衝撃を受けたチャイルドシートはふたたび使用しないでください。
万一のとき、十分な効果を発揮しないおそれがあり危険です。
3. チャイルドシートの股ベルトには衝突時の衝撃を吸収するために、特殊な縫製を施してあります。
もし、なんらかの理由により下図の状態になりましたら、そのチャイルドシートは使用しないでください。
万一のとき、十分な効果を発揮しないおそれがあり危険です。
4. 車両シートベルト及びチャイルドシートのベルトを鋭利なもので傷付けないようにご注意ください。
万一のとき、ベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあり危険です。
少しでも傷ついた場合は使用しないでください。
5. 走行中は、お子様が誤って車両シートベルトやチャイルドシートのバックルボタンを押して、ベルトがはずれることのないよう、ご注意ください。
6. 後席に乗員を乗せる場合は、チャイルドシートを2ドアや3ドア車両の前席、1ボックス車両のセカンドシートには取り付けしないでください。
後席乗員の緊急脱出に支障となる場合があります。
7. チャイルドシートに日光が当たるとバックル部などが熱くなり、部品に触れてやけどをするおそれがあります。熱くないことを確認のうえ、ご使用ください。
8. ロッキングクリップ (※4ページ) はチャイルドシートを後ろ向きに固定する場合のみ、ご使用ください。
車両シートベルトを上記以外に使用する場合は必ずロッキングクリップを取りはずしてから、ご使用ください。
使用しないロッキングクリップは紛失しないよう大切に保管してください。
9. 走行中はチャイルドシートの調整や操作をしないでください。
10. 安全のため、走行中はお子様をチャイルドシートから、降ろさないでください。
11. このチャイルドシートは自動車専用ですので、お部屋などで使用しないでください。
12. 安全のため、改造は絶対しないでください。



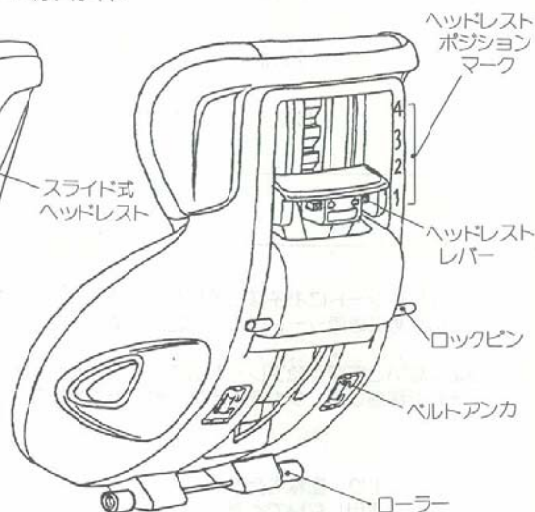
黄色のマークが飛び出した場合

3 各部の名称

本体

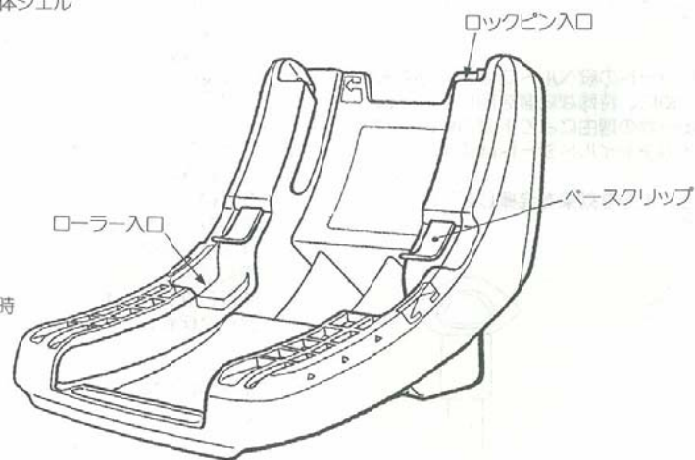


本体(裏側)



ベース

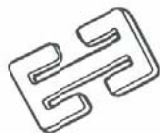
前向き取り付け時に使用



付属品

※ 本取扱書ではチャイルドシートに使われているシートベルトは「ベルト」と表現しています。

ロックアップクリップ
(後ろ向き取り付け時に使用)



取扱書

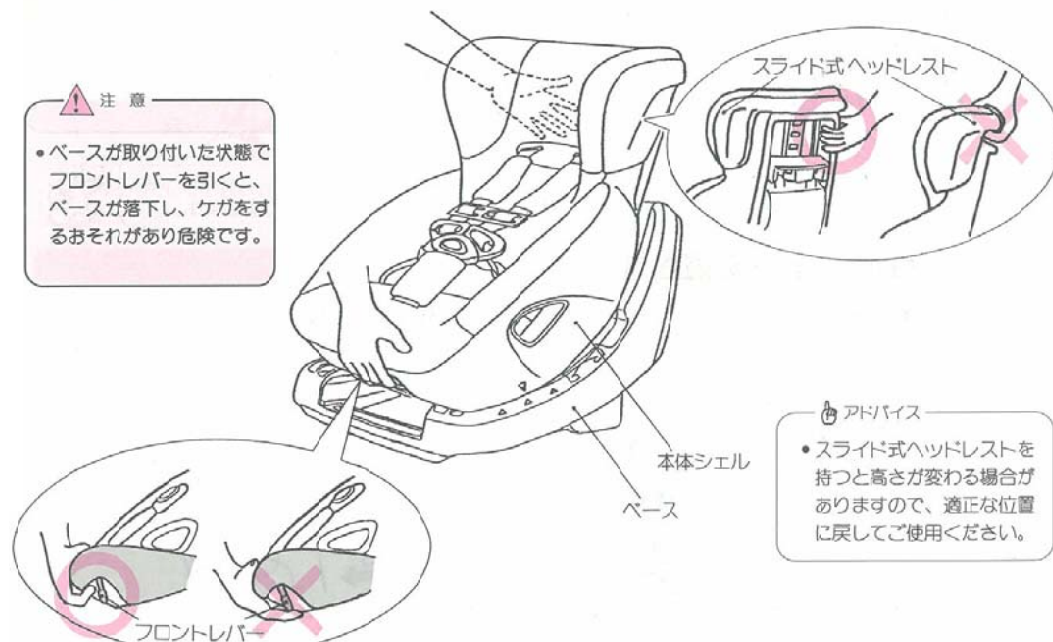


4 車両へ取り付け前に

1. チャイルドシートの持ち方

本体シェル部を両手でしっかりお持ちください。

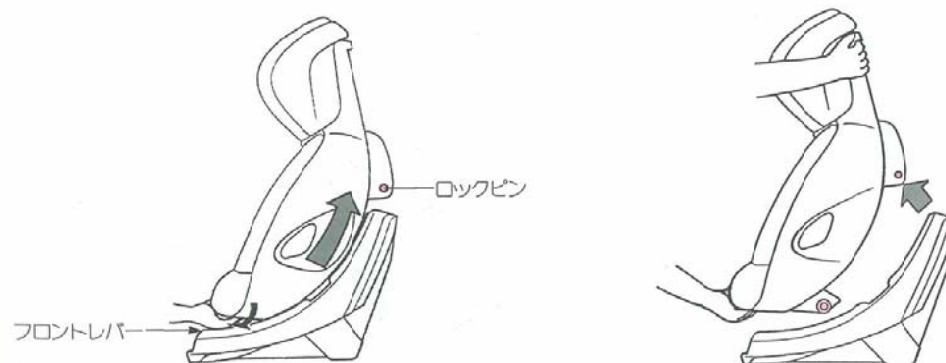
注意
• ベースが取り付けいた状態でフロントレバーを引くと、ベースが落下し、ケガをす
るおそれがあり危険です。



2. 取り付け前の準備

まずベースから、本体を取りはずします。

- ① フロントレバーを引き上げながら、本体を上方へスライドさせ、ロックピンをベースからはずしてください。
- ② 本体を手前に引き上げ、取りはずしてください。



5 車両への取り付け方 ー後ろ向き取り付け・3点式シートベルトの場合

安全にご使用いただくために、必ず次の条件をお守りください。

取り付けのポイント

- 後ろ向きに取り付ける場合はベースを使用しません。

！ 注意

- ご使用前に取り付け可能な座席であること及びお子様の使用条件を必ず確認してください。(P.2ページ)
- SRSエアバッグが装着されている座席には使用しないでください。エアバッグの作動によりケガをするおそれがあり危険です。

！ アドバイス

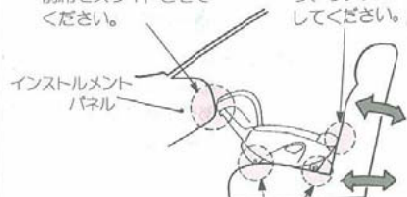
- ベースは傷つけないよう、大切に保管してください。
- 万一のとき、後席の方がより安全とされていますので、後席への取り付けをおすすめします。



1. 車両シートへの置き方

前席へ取り付ける場合

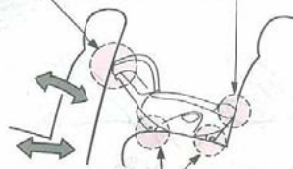
- インストルメントパネルに本体が軽く当たるよう、前席をスライドさせてください。
- 本体の座面先端部が車両シート/バックに当たるよう、リクライニング調整してください。



- チャイルドシート底面の前後が車両シート座面に接するようにしてください。

後席へ取り付ける場合

- 車両前席のシート/バックに本体が軽く当たるよう、前席をスライド、及びリクライニングさせてください。
- 本体の座面先端部が車両シート/バックに当たるようにしてください。



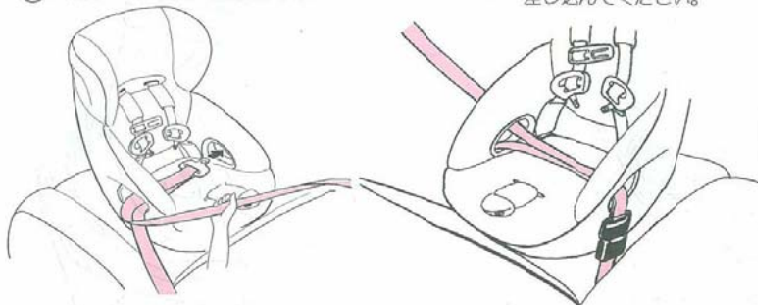
- チャイルドシート底面の前後が車両シート座面に接するようにしてください。

！ 注意

- 運転者が適切な運転姿勢をとれないおそれのある座席には取り付けしないでください。(運転席の後方座席や運転席と助手席が一体の車両など)
- インストルメントパネルや前席のシート/バックにチャイルドシートが当てられない場合は取り付けしないでください。

2. 車両シートベルトでの固定の仕方

- ① 車両シートベルトを取付穴に通してください。
- ② もう一方の取付穴にも通し、車両のバックルに差し込んでください。



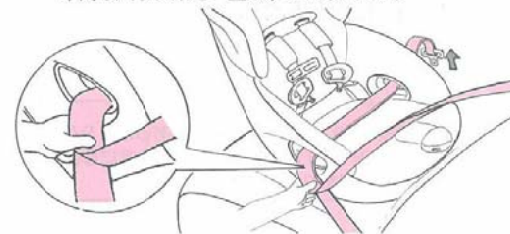
！ 注意

- 車両のバックル位置が高く、しっかり固定できない場合は調整してください。(P.7ページ)

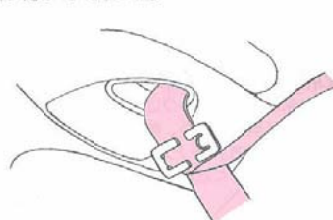
- ③ チャイルドシートを上から強く押さえ付けた状態で車両シートベルトを引き、ゆるみを取ってください。



- ④ 図の位置で車両シートベルトを強くつかんだまま車両のバックルを一旦はずしてください。



- ⑤ つかんでいる位置に図のようにロックングクリップを取り付けてください。



- ⑥ チャイルドシートを上から押さえ付けながらバックルに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



【完了チェック】

チャイルドシートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。

- チャイルドシートの上部に前後左右の力をかけたとき安定していること。
- お子様が生座っても車両シートベルトにゆるみがないこと。(「お子様の乗せ方」(14ページ)を参照)
- 車両シートベルトがねじれていないこと。(但し、下記の場合を除きます。)



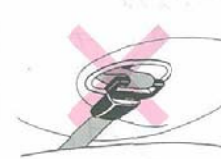
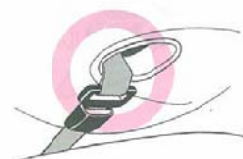
！ 注意

- チャイルドシートの上部に前後左右の力をかけて安定しない場合は、その座席では使用しないでください。

車両シートベルトのバックル位置が高い場合

チャイルドシートをしっかりと固定できませんので次の要領で調整を行ってください。

- 後席では車両のバックルを回転させ位置を低くしてご使用ください。



！ 注意

- 後席で車両バックルを回転させても、まだ位置が高い場合は使用しないでください。
- 上記の調整ができない場合、または調整しても安定しない場合には使用しないでください。そのままご使用になると万一のとき、チャイルドシートの効果を発揮しないばかりか思わぬ事故のおそれがあり危険です。
- チャイルドシートの取り付け以外では車両シートベルトをねじって使用しないでください。万一のとき、車両シートベルトの効果を発揮しないばかりか思わぬ事故のおそれがあり危険です。

5 車両への取り付け方 ー後ろ向き取り付け・2点式シートベルトの場合

安全にご使用いただくために、必ず次の条件をお守りください。

取り付けのポイント

- 後ろ向きに取り付ける場合はベースを使用しません。

注意

- ご使用前に取り付け可能な座席であること及びお子様の使用条件を必ず確認してください。(P2ページ)
- SRS エアバッグが装着されている座席には使用しないでください。エアバッグの作動によりケガをするおそれがあります。

アドバイス

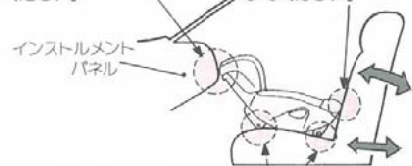
- ベースは傷つけないよう、大切に保管してください。
- 万一のとき、後席の方がより安全と言われておりますので、後席への取り付けをおすすめします。



1. 車両シートへの置き方

前席へ取り付ける場合

- インストルメントパネルに本体が軽く当たるよう、前席をスライドさせてください。
- 本体の座面先端部が車両シートバックに当たるよう、リクライニング調整してください。



- チャイルドシート底面の前後が車両シート座面に接するようにしてください。

後席へ取り付ける場合

- 車両前席のシートバックに本体が軽く当たるよう、前席をスライドおよびリクライニングさせてください。
- 本体の座面先端部が車両シートバックに当たるようにしてください。



- チャイルドシート底面の前後が車両シート座面に接するようにしてください。

完了チェック

チャイルドシートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。



- チャイルドシートの上部に前後左右の力をかけたとき安定していること。
- お子様も座っても車両シートベルトにゆるみがないこと。(「お子様の乗せ方」(14ページ)を参照)
- 車両シートベルトがねじれていないこと。(但し、下記の場合を除きます。)

注意

- チャイルドシートの上部に前後左右の力をかけて安定しない場合は、その座席では使用しないでください。

注意

- 運転者が適切な運転姿勢をとれないおそれがある座席には取り付けしないでください。(運転席の後方座席や運転席と助手席が一体の車両など)
- インストルメントパネルや前席のシートバックにチャイルドシートが当てられない場合は取り付けしないでください。

2. 車両シートベルトでの固定の仕方

- ① 車両シートベルトを取付穴に通してください。



- ② もう一方の取付穴にも通し、車両のバックルに差し込んでください。



注意

- 車両のバックル位置が高く、しっかり固定できない場合は調整してください。(P9ページ)

車両シートベルトのバックル位置が高い場合

チャイルドシートをしっかりと固定できませんので下記の要領で調整を行ってください。



- 後席では車両のバックルを回転させ、位置を低くしてご使用ください。

注意

- 後席で車両バックルを回転させても、まだ位置が高い場合は使用しないでください。
- 上記の調整ができない場合、または調整しても安定しない場合には使用しないでください。そのままご使用になると万一のとき、チャイルドシートの効果を発揮しないばかりか思わぬ事故のおそれがあります。
- チャイルドシートの取り付け以外では車両シートベルトをねじって使用しないでください。万一のとき、車両シートベルトの効果を発揮しないばかりか思わぬ事故のおそれがあります。

5 車両への取り付け方 ー前向き 取り付け・3点式シートベルトの場合

安全にご使用いただくために、必ず次の条件をお守りください。

取り付けのポイント

- 前向きに取り付ける場合はベースを使用します。

注意

- 使用前に取り付け可能な座席であること及びお子様の使用条件を確認してください。(12ページ)
- 助手席 SRS エアバッグが装着されている座席では、シートを一番後ろの位置へ調整してご使用ください。

アドバイス

- 万一のとき、後席の方がより安全と言われていますので、後席への取り付けをおすすめします。



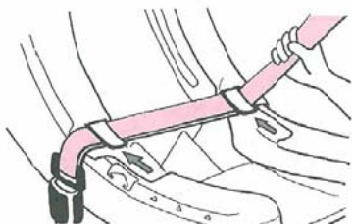
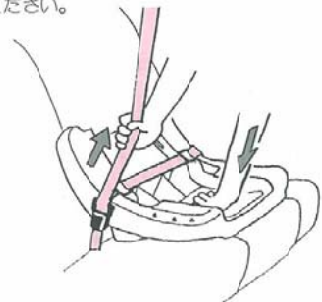
1. ベースの車両シートへの取り付け方

ベースの置き方

- ベースの底面の前後が車両シート座面に接するようにしてください。
- ベースの上端が車両シートバックに当たるようにしてください。
- 〔前席へ取り付ける場合は、車両シートバックに当たるよう、リクライニング調整してください。〕

車両シートベルトでの固定の仕方

- ① 車両のタンクプレート（黄色）を車両のバックルに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
- ② 車両シートベルトを両側のベースクリップに差し込んでください。
- ③ ベースを上から押さえ付けながら車両シートベルトを引き上げ、車両シートに密着させてください。
- ④ 車両シートベルトがゆるまないように注意して、両側のベースクリップに重なるように差し込んでください。



注意

- 車両のバックル位置が高く、しっかり固定できない場合は調整してください。(11ページ)

完了チェック



チャイルドシートの効果を発揮させるため、次のことを確認してください。

- ベースの上部に前後左右の力をかけたとき、安定していること。
- 車両シートベルトがねじれていないこと。

（但し、下記の場合を除きます。）

注意

- ベースの上部に前後左右の力をかけて安定しない場合は、その座席では使用しないでください。

車両シートベルトのバックル位置が高い場合



チャイルドシートをしっかりと固定できませんので次の要領で調整を行ってください。

- 前席へ取り付ける場合
前方へスライドしてください



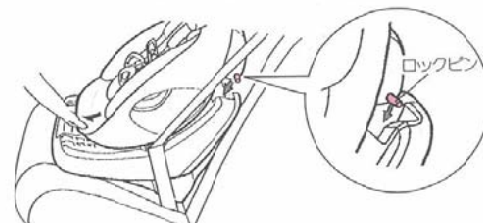
- 後席へ取り付ける場合
車両のバックルを回転させ、位置を低くしてご使用ください。

注意

- 後席で車両バックルを回転させても、まだ位置が高い場合は使用しないでください。
- 上記の調整ができない場合、または調整しても安定しない場合には使用しないでください。そのままご使用になると万一のとき、チャイルドシートの効果を発揮しないばかりか思わぬ事故のおそれがあり危険です。
- チャイルドシートの取り付け以外では車両シートベルトをねじって使用しないでください。万一のとき、車両シートベルトの効果を発揮しないばかりか思わぬ事故のおそれがあり危険です。

2. 本体の取り付け方

- ① 本体のローラー（黄色）をベースのローラー入口に挿入してください。
- ② 本体のフロントレバーを引き上げながら、ロックピンをベースのロックピン入口に挿入してください。



完了チェック

チャイルドシートの効果を発揮させるため、次のことを確認してください。



- チャイルドシートの上部に前後左右の力をかけたとき、安定していること。
- お子様が座っても車両シートベルトにゆるみがないこと。（「お子様の乗せ方」(14ページ)を参照）
- ローラー（黄色）がベースの上に乗り上げていないこと。
- 本体のロックピンがベースに確実にロックされていること。

注意

- チャイルドシートの上部に前後左右の力をかけて安定しない場合は、その座席では使用しないでください。

5 車両への取り付け方 ー前向き 取り付け・2点式シートベルトの場合

安全にご使用いただくために、必ず次の条件をお守りください。

取り付けのポイント

- 前向きに付ける場合はベースを使用します。



注意

- 使用前に取り付け可能な座席であること及びお子様の使用条件を確認してください。(P.2ページ)
- 助手席 SRS エアバッグが装着されている座席では、シートを一番後ろの位置へ調整してご使用ください。



アドバイス

- 万一のとき、後席の方がより安全と言われていますので、後席への取り付けをおすすめします。



1. ベースの車両シートへの取り付け方

ベースの置き方

- ベース底面の前後が車両シート座面に接するようにしてください。



- ベースの上端が車両シートバックに当たるようにしてください。

- 前席へ取り付ける場合は、車両シートバックに当たるよう、リクライニング調整してください。

車両シートベルトでの固定の仕方

- ① 車両のタンブラーを車両のバックルに差し込んでください。



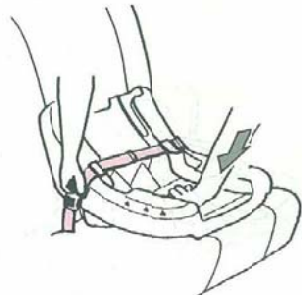
- ② 車両シートベルトを両側のベースクリップに差し込んでください。



- ③ 車両のバックルをはずして車両シートベルトの長さを調整してください。



- ④ ベースを上から押さえた状態で、車両のバックルに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



注意

- 車両のバックル位置が高く、しっかり固定できない場合は調整してください。(P.13ページ)

《完了チェック》



- チャイルドシートの効果を発揮させるため、次のことを確認してください。
- ベースの上部に前後左右の力をかけたとき、安定していること。
 - 車両シートベルトがねじれていないこと。
- (但し、下記の場合を除きます。)



注意

- ベースの上部に前後左右の力をかけて安定しない場合は、その座席では使用しないでください。

車両シートベルトのバックル位置が高い場合

チャイルドシートをしっかりと固定できませんので次の要領で調整を行ってください。



- 後席へ取り付ける場合

車両のバックルを回転させ、位置を低くしてご使用ください。

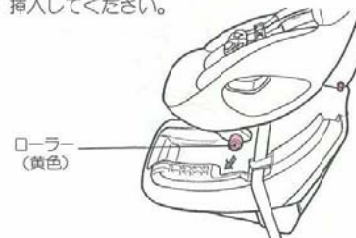


注意

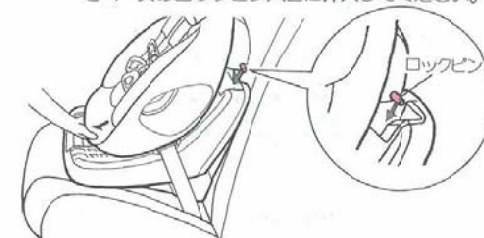
- 後席で車両バックルを回転させても、まだ位置が高い場合は使用しないでください。
- 上記の調整ができない場合、または調整しても安定しない場合には使用しないでください。そのままご使用になると万一のとき、チャイルドシートの効果を発揮しないばかりか思わぬ事故のおそれがあり危険です。
- チャイルドシートの取り付け以外では車両シートベルトをねじって使用しないでください。万一のとき、車両シートベルトの効果を発揮しないばかりか思わぬ事故のおそれがあり危険です。

2. 本体の取り付け方

- ① 本体のローラー（黄色）をベースのローラー入口に挿入してください。



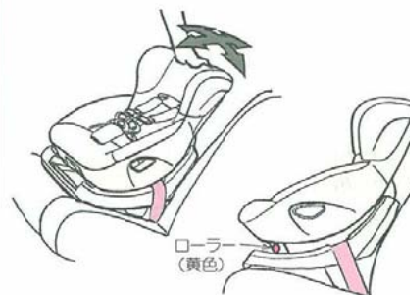
- ② 本体のフロントレバーを引き上げながら、ロックピンをベースのロックピン入口に挿入してください。



《完了チェック》

チャイルドシートの効果を発揮させるため、次のことを確認してください。

- チャイルドシートの上部に前後左右の力をかけたとき、安定していること。
- お子様が座っても車両シートベルトにゆるみがないこと。(「お子様の乗せ方」(14ページ)を参照)
- ローラー（黄色）がベースの上に乗り上げていないこと。
- 本体のロックピンがベースに確実にロックされていること。

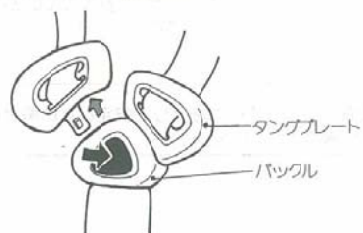


注意

- チャイルドシートの上部に前後左右の力をかけて安定しない場合は、その座席では使用しないでください。

6 お子様の乗せ方

- ① バックルのボタンを押してタンブプレートをはずしてください。



- ② お子様をチャイルドシートに深く腰かけた状態に座らせてください。



アドバイス

- ベルトを外側に開いておくと、お子様を乗せやすくなります。

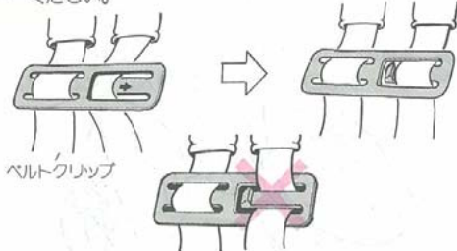
- ③ ベルトの出口がお子様の肩の高さに最も近い位置にくるよう、スライド式ヘッドレストの高さを調整してください。(P.15ページ)



- ④ 左右のタンブプレートをバックルに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



- ⑤ ベルトをベルトクリップの裏側から差し込んでください。



- ⑥ ベルト/パッドがお子様の肩の位置にくるよう調整し、さらにベルトクリップをお子様の胸の付近にくるよう、調整してください。



完了チェック

チャイルドシートの効果を発揮させるため、次のことを確認してください。

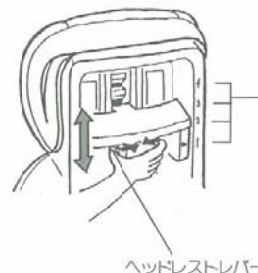


- バックルとタンブプレートが確実に結合されていること。
- ベルトがねじれたり、ゆるんだ状態になっていないこと。
- ベルト/パッドおよびベルトクリップが正しい位置にあること。

7 ベルト位置(スライド式ヘッドレスト)の調整方法

注意

- ご使用時はショルダーベルトガイドの出口が、お子様の肩の高さに最も近い位置にくるよう、スライド式ヘッドレストを必ず調整してください。



- ① 本体表側にあるヘッドレストレバーを押し、ロックを解除して高さを調整してください。

アドバイス

- チャイルドシートの裏側に手が入りにくい場合は、リクライニングをアップライトポジションにしてください。(「8 リクライニングの調整方法」を参照)

- ② 調整後ヘッドレスト部を上から押さえ、動かないことを確認してください。

8 リクライニングの調整方法

本体は3段階にリクライニングできます。(前向き取り付けのみ)



- フロントレバーを引き上げながら、リクライニング合わせマークを目安にスライドさせ、ご希望の位置でフロントレバーを放し、「カチッ」と音がすることを確認してください。

注意

- 調整後、本体を軽く前後させ確実にロックしていることを確認してください。
確実にロックしていないとチャイルドシートの効果が発揮されないおそれがあり危険です。

アドバイス

お子様の状態に合わせてリクライニング調整をしましょう。

リクライニングポジション



- 頭が安定し楽な姿勢でお休みいただけます。

ノーマルポジション



- 通常この位置で使用します。

アップライトポジション



- 視点が高くなり楽な姿勢で外の景色がご覧いただけます。

9 チャイルドシートのお手入れ

1. 構成部品の取りはずし方

<準備>

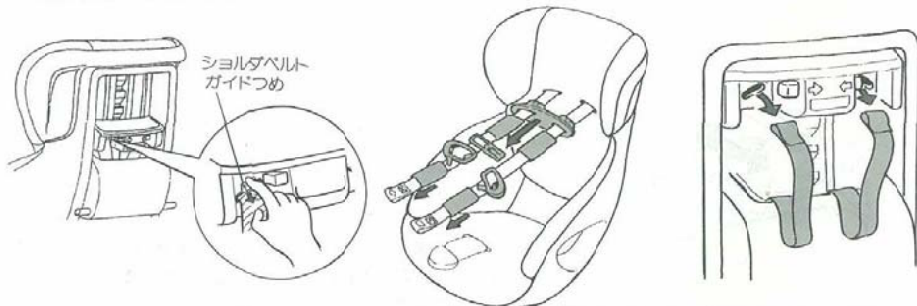
1. 本体をベースに取り付けてある場合は、ベースからはずしてください。
2. スライド式ヘッドレストを最上段に調整してください。

1. 表皮Aのはずし方

- ① 本体からベルトアンカを引き抜いてください。
- ② ベルトからベルトアンカを取りはずしてください。
- ③ 本体からベルトを引き抜いてください。



- ④ 裏側のショルダベルトガイドのつめをはずしてください。
- ⑤ 左右のベルトに通っている部品を全てはずしてください。
- ⑥ 裏側からベルトを引き抜いてください。

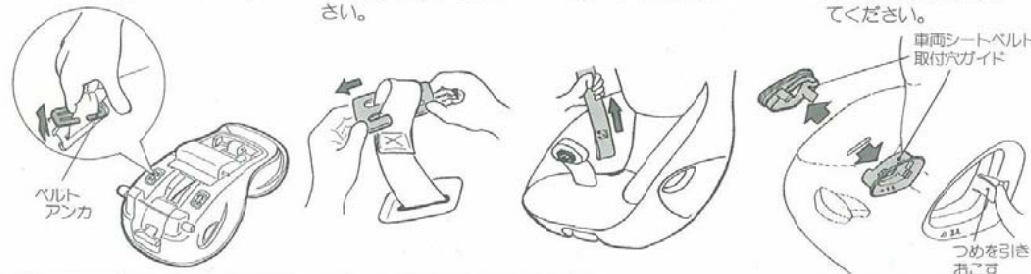


- ⑦ 下側から表皮Aを取りはずしてください。
- ⑧ 本体からヘッドレストパッドを取りはずしてください。
- ⑨ ヘッドレストパッドからゴムひもをはずし、表皮Aを取りはずしてください。

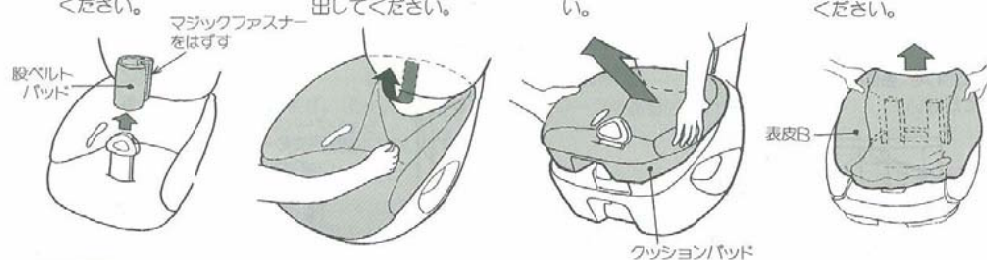


2. 表皮Bのはずし方

- ① 本体からベルトアンカを引き抜いてください。
- ② ベルトからベルトアンカを取りはずしてください。
- ③ 本体からベルトを引き抜いてください。
- ④ 車両シートベルト取付穴ガイドを取りはずしてください。



- ⑤ バックルから股ベルトパッドを取りはずしてください。
- ⑥ ヘッドレストの裏側から表皮Bの端末を引き出してください。
- ⑦ クッションパッドを本体からはずしてください。
- ⑧ クッションパッドから表皮Bを取りはずしてください。



2. お手入れ

1. 表皮、ベルトパッド、股ベルトパッドの洗い方



- 中性洗剤で手洗いし、風通しのよい日陰に干してください。
- 十分に乾くまで使用しないでください。
- 塩素系漂白剤は色落ちするのでお使いにならないでください。



2. 本体、部品類のお手入れ

- 汚れがひどいときには、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを取り、水拭きしてから風通しのよい日陰に干してください。
- 十分に乾くまで使用しないでください。

⚠ 注意

- ガソリンやベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。また、ベルトを漂白したり、染めたりしないでください。チャイルドシートの効果が十分発揮できなくなるおそれがあり危険です。

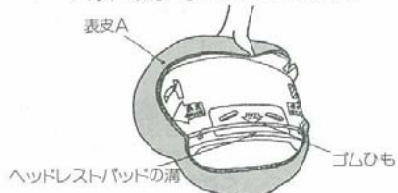
3. 構成部品の組み立て方

<準備>

1. 本体をベースに取り付けてある場合は、ベースからはずしてください。
2. スライド式ヘッドレストを最上段に調整してください。

1. 表皮Aの組み付け方

- ① ヘッドレスト/パッド上部より表皮Aをかぶせ、ゴムひもをヘッドレスト/パッドの溝に引っかけてください。
- ② 表皮Aをかぶせたヘッドレスト/パッドを本体に取り付けてください。
- ③ イ部から口部の方向に表皮Aを取り付けてください。



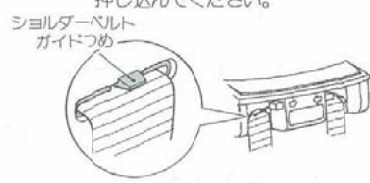
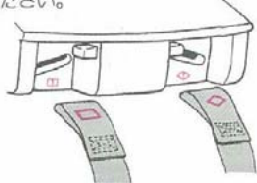
表皮A



口部

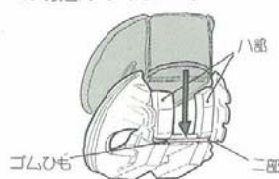


- ④ 左右のベルトをマーク (19ページ) に合わせ、裏側から差し込んでください。
- ⑤ 左右のベルトにそれぞれの部品を図のように通してください。
- ⑥ ショルダーベルトガイドのつめを本体に挿入し、確実にかかるまで押し込んでください。

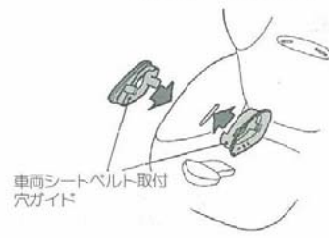


2. 表皮Bの組み付け方

- ① シートクッション/パッドのハ部を表皮Bのゴムひもを通し、二部の溝にはめ込んでください。
- ② クッション/パッドの上部から表皮Bを取り付けてください。
- ③ バックルを表皮Bの穴に通しながら本体に取り付けてください。

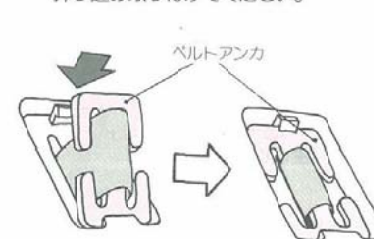


- ④ 表皮Bの後部をヘッドレスト裏側へ差し込んでください。
- ⑤ 車両シートベルト取付穴ガイドを取り付けてください。
- ⑥ 股ベルト/パッドをバックルに取り付けてください。



3. ベルトアンカの本体への取り付け方

- ① シートクッション/パッドの左右のベルト穴にベルトを裏側まで通してください。
- ② 左右のベルトにベルトアンカを図のように通し、ベルトアンカを本体に押し込み取り付けてください。



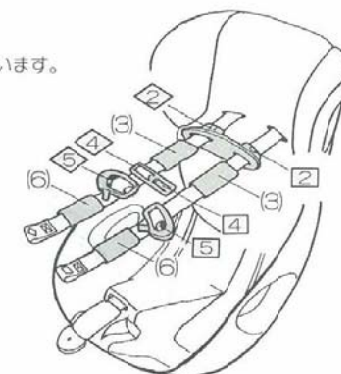
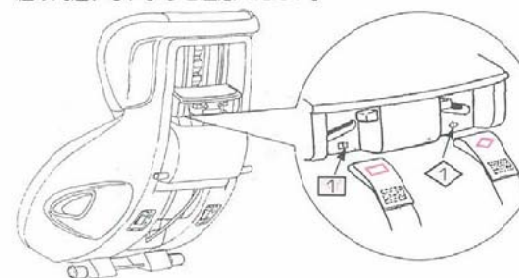
アドバイス

- タンクプレートバックルに差し込んだ状態でベルトを通すとベルトのねじれが確認しやすくなります。

アドバイス

各部品に通し番号が付いています。(但し、ベルト/パッドにはマークや番号は付いていません。)

- ベルト先端の◇□マークを各部品についている同じ形のマークの番号順に通してください。
- ベルト/パッド(3. 長い)は(6. 短い)に比べて長さが60mm長くなっています。組み間違いのないようご注意ください。



《完了チェック》

チャイルドシートの効果を発揮させるため、次のことを確認してください。

- ベルトがベルトアンカに確実に取り付けられていること。
表からベルトを引っ張り、ベルトが抜けないこと。
- ベルトがねじれていないこと。
- 構成部品の取り付け忘れがないこと。
- 構成部品の取り付け順序及び左右の間違いがないこと。

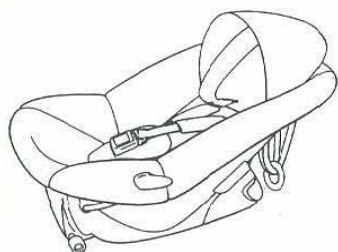


ご案内

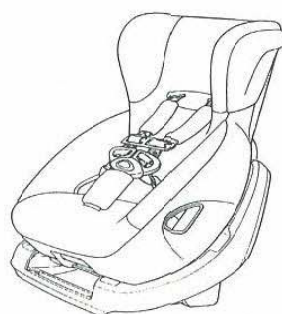
トヨタ純正《チャイルドシートシリーズ》では年齢、体格に応じ次の商品を取りそろえております。

お子様のより安全、快適なカーライフにぜひご利用ください。

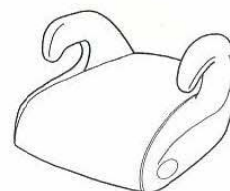
ベビーシート
(生後12ヶ月以下)



チャイルドシート
(6ヶ月～4才)

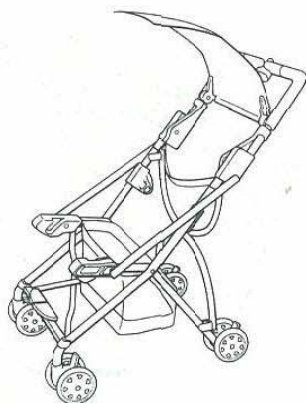


ジュニアシート
(4才～10才)



() 内は参考使用年齢

ベビー&チャイルドシートバギー



〈使用例〉



ご不明な点はお買い求めの販売店へお問い合わせください。

トヨタ自動車株式会社

お客様相談センター 全国共通・フリーダイヤル ☎0120-462000

所在地 〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目23の22